



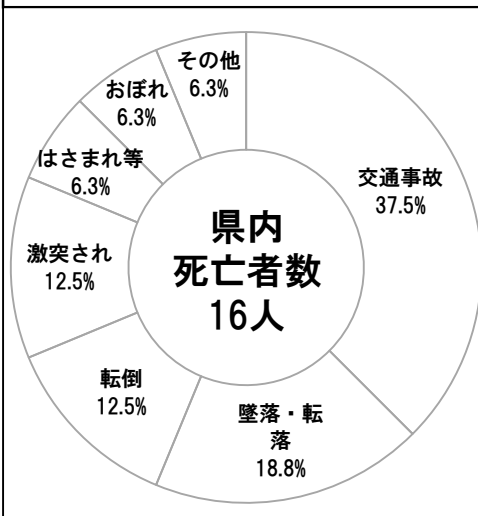
第98回 全国安全週間

◆本週間／令和7年7月1日から7月7日 ◆準備期間／同6月1日から6月30日

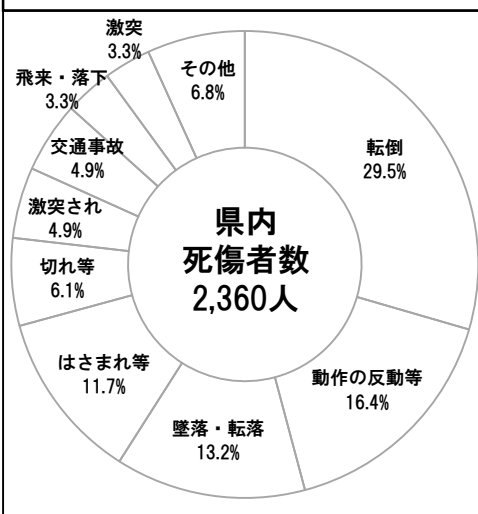
令和7年度
スローガン

多様な仲間と 築く安全 未来の職場

令和6年 事故の型別 死亡災害発生状況



令和6年 事故の型別 労働災害発生状況 (休業4日以上 の災害)



労働災害による死傷者数(休業4日以上)は1日約6.5人(県内)

長野県内の令和6年における休業4日以上労働災害による死傷者数(新型コロナ関連を除く)は2,360人で、1日当たりにすると約6.5人が被災しています。このうち、岡谷労働基準監督署管内における死傷者数は214人で、前年と比べ23人増加しています。なお、岡谷市内の死傷者数は41人で、前年に比べ2人減少となります。

死亡者数は16人(県内) 岡谷労働基準監督署管内は1人

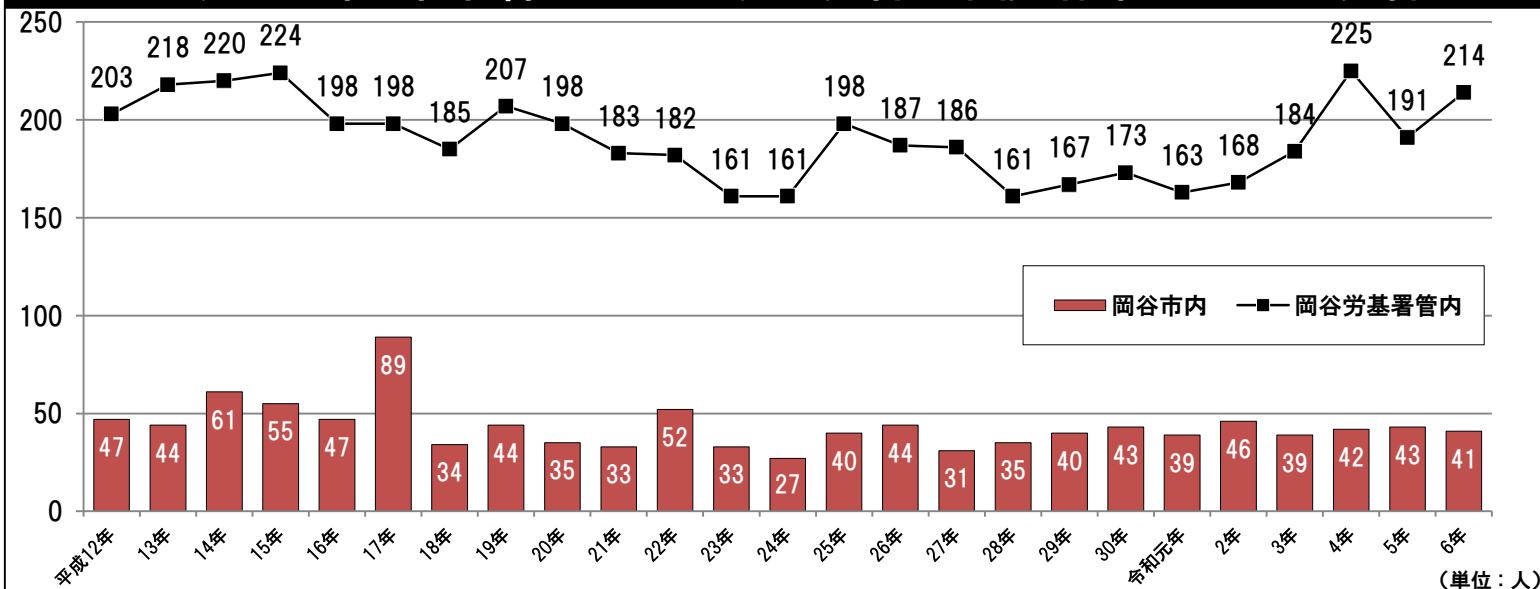
長野県内の令和6年における労働災害による死亡者数は、前年に比べ3人増加し16人となりました。

事故の型別でみると、「交通事故」が最も多く6人、次いで「墜落・転落」が3人、「転倒」「激突され」がそれぞれ2人となっています。

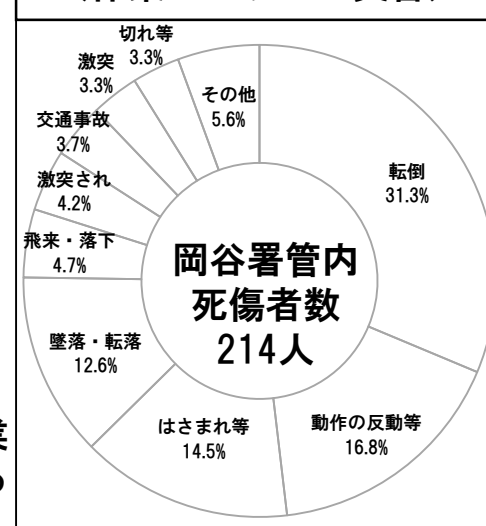
業種別でみると、「建設業」が最も多く7人、次いで第三次産業を主体とする「その他の業種」が4人、「陸上貨物運送業」が2人、「製造業」「林業」「農業」がそれぞれ1人となっています。

岡谷労働基準監督署管内においては、令和6年の死亡者は1人となりました。

岡谷労働基準監督署管内における労働災害の推移(休業4日以上 の災害)



令和6年 事故の型別 労働災害発生状況 (休業4日以上 の災害)



安全 + 第一



岡谷市安全会議

7月1日は「安全の日」です～「安全」について皆さんで考えましょう～

全国安全週間（7/1～7/7）及び準備期間（6/1～6/30）中に、より一層の安全管理活動に取り組みましょう！

職場安全

各業種の重点災害をなくそう！

- ・ 製造業における、機械設備による「はさまれ・巻き込まれ」災害
- ・ 建設業における、高所からの「墜落・転落」災害
- ・ 運送業における、荷役作業中の荷台等からの「墜落・転落」災害
- ・ 第三次産業における、「転倒」災害と「無理な動作（腰痛）」災害をなくそう！

毎年7月1日から7月7日までは全国安全週間、6月1日から6月30日まではその準備期間となっています。この期間には、各企業のトップが率先し、集中的に、次の事項について取り組みましょう！

- ① 安全大会、研修会、職場安全パトロールを通じ、安全意識の高揚を図り、安全作業を徹底する。
- ② 危険予知活動、危険の見える化、危険再認識教育等を通じた作業者の危険感受性を高める安全教育を実施する。
- ③ 製造業においては、機械設備による「はさまれ・巻き込まれ」災害、「切れ・こすれ」災害防止対策（機械稼働部と作業者の隔離措置、清掃時等の機械停止）を徹底する。
- ④ 建設業においては、足場等からの「墜落・転落」災害防止対策として、手すり先行工法の積極的な採用、フルハーネス型の安全帯（墜落制止用器具）の積極的な使用を徹底する。
- ⑤ 運送業においては、トラックの荷台、積卸し場所、倉庫等における荷役作業時の「墜落・転落」災害防止対策を徹底する。
- ⑥ 第三次産業においては、4 S（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による「転倒」災害の防止対策と腰痛予防対策を徹底する。
- ⑦ すべての職場で「転倒」災害防止対策に取り組む。また、熱中症対策として、水分・塩分のこまめな摂取、日常の健康管理、熱中症発生時の対応手順の整備等に留意する。



家内安全

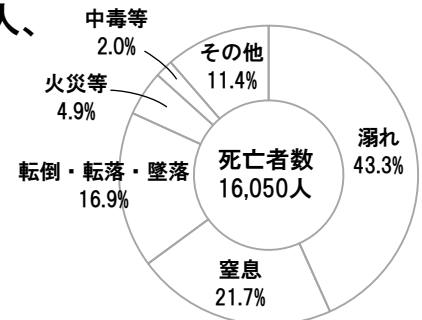
家庭内の不慮の事故をなくそう！

家庭内の不慮の事故死は1日「44人」（全国）

令和5年に発生した「不慮の事故死」は44,440人、このうち16,050人が家庭内において亡くなっており、1日当たりにすると約44人になります。

事故の発生態様をみますと、「溺れ」「窒息」「転倒・転落・墜落」「火災等」「中毒等」の順となっています。

（資料／人口動態調査）



家庭内事故死の割合

交通安全

交通事故をなくそう！

交通事故死は1日「7人」（全国）

全国で令和6年に交通事故で亡くなった人は2,663人で、1日当たりにすると約7人になります。この内、長野県の死亡者数は57人で、前年と比べて15人の増加となります。

（資料／道路の交通に関する統計）

県内における、交通労働災害による死亡者は「6人」

長野県で令和6年に交通労働災害で亡くなった人は6人で、死亡災害全体の37.5%を占めています。

時間にゆとりを持って、思いやりと譲り合いの心で、交通事故を起こさない・あわないよう、安全運転でお互い十分に注意しましょう！

危険を予測し 事故を防ぎましょう！

岡谷市安全会議